

(株)山田組 環境行動計画

平成 21年 4月20日

取組方針

株式会社山田組は、地域環境の保全とその継承の重要性を認識し、土木建設業としての事業活動を通じて、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、環境負荷の低減と、持続可能な環境保全に貢献する企業を目指し、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 省エネルギーと資源の節約（節水・電気）
- ② 一般・産業廃棄物排出量の削減
- ③ 二酸化炭素排出量の削減（自動車等）
- ④ 資源の節約（コピー用紙・電気・水道）
- ⑤ グリーン購入（省エネ蛍光灯・エコ冷暖房）
- ⑥ 環境美化活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、環境方針を全従業員に周知します。

平成 21年 4 月 20 日

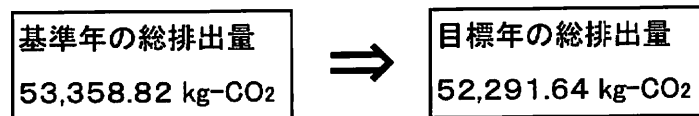
株式会社 山田組

代表取締役 山田 仁

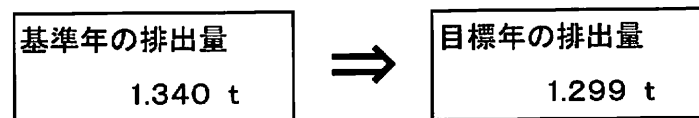
3 環境負荷の低減の目標

平成22年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、平成20年度)(平成20年4月1日～21年3月31日)

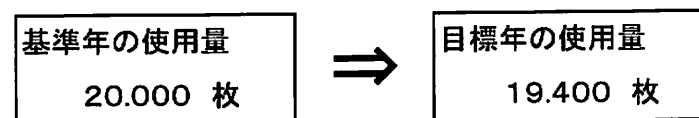
【目標1】 二酸化炭素の総排出量を 2 %削減する



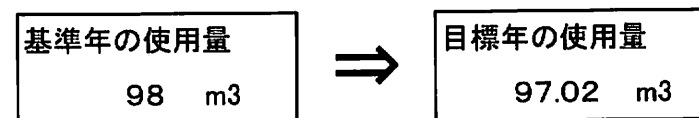
【目標2】 産業廃棄物の排出量を 3 %削減する



【目標3】 コピー用紙の使用量を 3 %削減する



【目標4】 水使用量を 1 %削減する



4 環境保全に向けた具体的な取組

取組－1	二酸化炭素排出量の削減
具体的な取組	<p>(事務所での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 事務室の空調温度を適正(冷暖時28度と暖房時20度)に設定する ② 昼休みの消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する ③ パソコンとコピー機の節電機能を活用する ④ 節電(適正電圧の設定)装置の導入による効果を検討する <p>(車両の使用に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心掛ける ⑥ 社用車の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する ⑦ 車の空調温度を適正温度に設定する

取組－2	廃棄物の適正管理と排出量の削減
具体的な取組	<p>(一般・産業廃棄物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 産業廃棄物の分別仕様を再検討し、置場を整備する ② ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める ③ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する <p>(商品の仕入れに関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 使用済みのダンボール、梱包材、荷造りひも等を分別する ⑤ 新しい製品カタログを受け取る時には、旧版を引き取ってもらう

取組-3	コピー用紙使用量及び、その他紙類の削減
具体的な取組	<p>(事務所での取組)</p> <p>① 作成した資料は、パソコン画面上での確認を徹底する</p> <p>② 両面印刷、両面コピーを徹底する</p> <p>③ 使用済み用紙の裏面を利用する</p> <p>④ 書類、資料の電子データ化を進める</p> <p>(商品の仕入れに関する取組)</p> <p>⑤ 使用済みのダンボール、梱包材、荷造りひも等を分別する</p> <p>⑥ 新しい製品カタログを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう</p>

取組-4	水使用量の削減
具体的な取組	<p>(事務所での取組)</p> <p>① 配管からの漏水を定期的に点検する</p> <p>② 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する</p> <p>③ 洗車用のホースに手元コックを取り付ける</p> <p>④ 水道蛇口にこまを設置する</p>

取組-5	その他の取組
具体的な取組	<p>(全社員での取組)</p> <p>① 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する</p> <p>② 社員による環境提案制度で、環境への取組についても提案を募集する</p>

5 環境行動計画の実施体制

この環境活動計画にそって環境保全活動を推進するために、環境管理責任者を委員長とする環境推進委員会(3ページに環境計画に示す)を設け、全社員が「具体的な取組」を実行します。